

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第2区分

【発行日】平成21年9月3日(2009.9.3)

【公開番号】特開2008-30047(P2008-30047A)

【公開日】平成20年2月14日(2008.2.14)

【年通号数】公開・登録公報2008-006

【出願番号】特願2006-202768(P2006-202768)

【国際特許分類】

B 2 3 K 35/26 (2006.01)

C 2 2 C 13/00 (2006.01)

C 2 2 C 13/02 (2006.01)

H 0 5 K 3/34 (2006.01)

【F I】

B 2 3 K 35/26 3 1 0 A

C 2 2 C 13/00

C 2 2 C 13/02

H 0 5 K 3/34 5 1 2 C

【手続補正書】

【提出日】平成21年7月22日(2009.7.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項4】

S i : 0 . 0 0 1 ~ 0 . 0 5 w t % をさらに含有することを特徴とする請求項1, 2または3に記載の無鉛ハンダ。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 2】

請求項4に記載の発明は、上記請求項1, 2または3において、S i : 0 . 0 0 1 ~ 0 . 0 5 w t % をさらに含有することを特徴としている。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 4】

請求項2に記載の発明によれば、さらにC uを0 . 0 5 ~ 5 . 0 w t % 添加することにより、液相温度を高めることができる。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 【0015】

請求項3に記載の発明によれば、B:0.001~0.1wt%をさらに含有することにより、析出結晶の粗大化を防ぐことができる。

## 【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 【0016】

請求項4に記載の発明によれば、Si:0.001~0.05wt%をさらに含有することにより、析出結晶を緻密にすることができる。